

JRから布勢幼稚園に感謝状 トロッコ列車 小さな応援団

トロッコ列車を出迎える奥出雲町の玄関口、出雲八代駅で昨年四月から乗客の見送り活動を行う布勢幼稚園（園児十四名）に六月四日、JR西日本米子支社から感謝状が贈られました。

同幼稚園では、毎週金曜日に駅舎に出かけて、メッセーじ看板を手に歓迎のあいさつや歌・ダンスなど趣向を凝らした出迎えて、乗客を楽しませていきます。

また、ホームの草取りや花植えなど環境美化活動も積極的にを行っています。

同園では「今後も子供たちに、故郷の自然や文化を誇りに思い、生まれ育った地域を愛する心を育む活動を続けていきたい」と話されました。



▲表彰状を受け取る井上町長

地域ICT活用モデル事業 「情報通信月間表彰」受賞

平成二十年度から奥出雲町で実施した、総務省地域ICT活用モデル「高齢者等の安心・安全サポート事業」での取り組みが、中国総合通信局長「情報通信月間表彰」を受賞しました。

高齢者宅へのテレビ電話の設置や、これを利用した高齢者見守り・支援活動が、地域課題解決の先進事例を構築し、ICT活用推進に貢献したと評価されたものです。

六月一日、広島市内で行なわれた記念式典には、井上町長が出席し、中国総合通信局長から表彰を受けました。

町では、この事業を地域や高齢者にとってより身近なものとし、引き続き高齢者支援体制の充実を図っていきます。



▲武者行列で練り歩く子どもたち

要害山 山城祭 三澤氏の遺徳偲び、登山者の安全祈願

出雲最強の国人武将で二百八十余年にわたり中世奥出雲の発展と領民を戦禍から守り抜いた三澤氏の遺徳を偲ぶとともに、登山者の安全を祈願する、要害山山城祭が、五月三十日に開催され、地元住民や関係者約百人が参加しました。

神事では、古くから「榊の水」として言い伝えられている三澤池で清めの水を汲む「お水取り」を行い、その後、山頂本丸跡で、武士出陣の儀式である「三献の儀」が行なわれました。

神事の後、要害山三沢城跡

保存会の田部英年会長が「三澤氏の伝承を伝え、これからも立派に守っていききたい」とあいさつされました。

井上町長から「ここに来ると要害の地であることがよくわかる。三澤氏と縁のつながりのある人相互の交流が深まるとよい」と祝辞を述べられました。

この日は、武者行列も行なわれ三沢小学校の山尾憲道校長が大将にふんし、同小学校児童三十六人は雑兵の鎧・兜を身にまとい、駐車場から山頂までの約二百メートルを練り歩き、祭りに花を添えました。

教育委員に 磯田秀樹氏

松本憲二郎教育委員の任期満了に伴い、5月25日付けで、磯田秀樹氏（三成）が就任されました。任期は4年です。よろしくお願いします。



島根県市町村人会親善ゴルフ大会 関西奥出雲会が優勝

郷土の名誉と誇りをかけた、第三十五回近畿島根県市町村人会親善ゴルフ大会が四月十六日、箕面ゴルフ倶楽部（大阪府）で開催されました。

この大会において、島根県内の市町村人会二十八チームが参加し、関西奥出雲Cが優勝、関西奥出雲Aが準優勝し、奥出雲の名を高める大会となりました。

地域の交通安全に尽力 交通指導員さんが決まりました

交通安全の確保活動を行なう交通指導員として、九名の皆さんが決定しました。

交通指導員は、通学時の横断歩道における横断誘導や、高齢者の交通事故防止に尽力いただいています。

任期は二年間です。よろしくお願いします。

交通指導員の皆さんを ご紹介します

米原 清治さん（亀高）
清水 俊行さん（三成）
廣野 恭紀さん（三成）
水内 清司さん（下阿井）
田中 伸和さん（馬馳）
嵐谷 正美さん（鳥上）
鐵池 敏光さん（横田）
藤原 良雄さん（八川）
小早川 廣志さん（大馬木）



▶通学路で誘導する交通指導員

全国一斉 『子どもの人権110番』

子どもをめぐる人権問題に積極的に取り組むことを目的として、6月28日から7月4日までの7日間は、全国一斉強化週間と定められています。

期間中下記のとおり電話相談を実施しますので、学校内でのいじめや体罰、児童虐待など、学校生活や日常生活での悩みがありましたらお気軽にお電話ください。

子どもの人権専門委員会が中心となって相談に応じます。相談は無料で秘密は厳守されます。

子ども人権110番

0120 - 007 - 110（フリーダイヤル）

【期 間】平成22年6月28日（月）～7月4日（日）

【時 間】午前8時30分～午後7時

ただし、土曜日・日曜日は午前10時～午後5時

【主 催】松江地方法務局・島根県人権擁護委員連合会

【お問合せ先】町民課町民福祉係

有線：20 - 4101 電話：52 - 2674



人権イメージキャラクター
人KENまもる君 & 人KENあゆみちゃん

新緑の自然を満喫 船通山ブナ林自然観察会

新緑深まる6月6日、船通山でブナ林自然観察会が行なわれ、県内外から約20人が訪れました。

参加者は亀石コース駐車場を出発し、木漏れ日に照らされた登山道をゆっくりと進みました。時折珍しい草花を見つけると、自然観察指導員の説明を受けながら、登山を楽しみました。

ブナ林は、船通山をはじめ、吾妻山など県内ではわずかしが残っており、その高い保水機能と地域のみずがめとしての水源かん養機能の重要な役割を果たしています。

参加者は自然の大切さを学び、自然と共生していくことの大切さを改めて実感していました。



▲自然観察指導員から説明を受ける参加者